労務安全衛生管理夏季講座のご案内

公益社団法人　神奈川労務安全衛生協会
TEL　045-662-5965　FAX　045-201-7122

いろいろな業種・事業場の方々と
労務安全衛生について意見交換をしてみませんか？

この夏季講座は長年にわたり、事業場の人事労務関係者、安全・衛生管理者、産業医及び産業保健従事者が参加のもと、労務安全衛生に関するその時々のホットな話題を取り上げ、いろいろな業種・事業場の方々と意見交換を行い、今後の業務に活かしていただく場として開催してきました。

今年度は、午前の部は参加者全員を対象に神奈川労働局による「行政運営方針」説明、弁護士による「働き方改革をめぐる企業の対応と課題」についての講演会を開催いたします。
午後の部は「労働者の高齢化に向けての安全衛生対策」「職域で活用するアサーション・トレーニング」「過重労働対策の進め方」をテーマに開催いたします。

人事労務関係者、安全・衛生管理者、産業医及び産業保健従事者など多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日　　時　**平成 29 年 7 月 20 日（木）　10:00 ～ 17：00**

会　　場　**ホテル横浜ガーデン**
横浜市中区山下町 254　　TEL 045-641-1311
◎ＪＲ根岸線「関内駅」下車〈南口〉より徒歩 3 分
地下鉄「関内駅」下車〈横浜スタジアム方面出口〉より徒歩 4 分
地図は、参加券に明示します。

会　　費　**7,150 円**　＜資料代・昼食代・消費税込＞

分　科　会

〔第１分科会〕

「労働者の高齢化に向けての安全衛生対策」

わが国では人口が減少の局面へ移行しており、2060 年には国民総人口が 9000 万人を割り込み、少子高齢化の進展で高齢化率は 40%近い水準になると推計されています。

雇用労働者全体の現状を見ても、50 歳以上の労働者の占める割合は約３割。工事現場では働く人の３人に１人が 55 歳以上となっています。

高齢労働者は、一般に豊富な知識と経験を持っていること、業務全体を把握した上での判断力と統率力を備えていることが多い特徴がある一方、加齢に伴い心身の機能が低下し、労働災害発生率も年齢階層別の年千人率は 50 歳代で 30 歳代の 1.5 倍、60 歳以上では更に高くなっています。結果、50 歳以上の高年齢労働者が休業４日以上の死傷災害全体に占める割合は全体の 44%で、被災の程度も重くなる傾向があります。

一方、昨年６月に閣議決定された「一億総活躍プラン」の中心施策である「働き方改革」では、「非正規雇用者の待遇改善」「長時間労働の是正」と共に「高齢者の雇用促進」が横断的課題として挙げられています。これらの政策が具体化し、今後、更に高齢労働者の割合が高まることを踏まえると、高齢労働者があらゆる場所で健康で安全に活躍できる職場環境を整備する必要があります。

ついては、本年の夏季講座の第 1 分科会のテーマを「来るべき高齢労働者社会における安全衛生上の課題」と題し、大原記念労働化学研究所・松田氏より、これまでの各種研究で蓄積されてきた高齢労働者に関する様々な知見、特性を講演いただき、その後のグループ討議で各社が抱える課題も共有いただこうと思います。

是非多くの方にご参加いただき、来るべき高齢労働者社会に備える機会としていただければ幸いです。

座　　長　　株式会社　東芝 横浜事業所　　円子　裕

＜講　　演＞

テーマ：　「来るべき高齢労働者社会における安全衛生上の課題」

公益財団法人 大原記念労働科学研究所

特別研究員　松田 文子 氏

＜グループ討議＞

グループリーダー　　労務管理委員会委員・教育委員会委員

〔第２分科会〕

「職域で活用するアサーション・トレーニング」

ストレスチェック制度が２年目に入り、企業にとっては、受検率の向上や結果の活用が今後の課題になっています。

厚生労働省の平成 27 年労働安全衛生調査結果においても、仕事や職業生活で強いストレスを感じる主な要因の一つに「対人関係（セクハラ・パワハラを含む）」があげられています。

対人関係の問題の多くは、コミュニケーションの行き違いから生じます。相手に適切に伝え、相手から適切に受け取る難しさは日々実感するところですが、コミュニケーションを円滑に進めるために役立つ訓練方法として「アサーション・トレーニング」が注目されています。

「アサーション」とは、「相手の気持ちや考えを尊重しながらも、自分の気持ちや考えをその場に適切な表現で相手に率直に伝えること」です。このコミュニケーションスキルの基本には、お互いを尊重するという考え方があります。

今回の夏季講座では、ストレスの軽減策、パワーハラスメントなどの一次予防策として、この「アサーション・トレーニング」をテーマに取り上げます。

講師には、企業、官公庁でメンタルヘルス対策支援などを幅広く手掛けていらっしゃる谷澤 春美先生をお迎えして、「アサーション」について理解を深め、グループワークから実践的な方法も学習していきます。

管理職、人事・労務・教育担当者、衛生管理者、産業保健職など多数の皆様のご参加をお待ちしております。

座　　長　　日本電気株式会社 玉川事業場　　篠田　薫

＜講　　演＞

テーマ：「職域で活用するアサーション・トレーニング」

株式会社レインメーカー　　代表取締役　谷澤 春美 氏

＜グループ討議＞

グループリーダー　　産業保健活動委員会委員

〔第３分科会〕

「過重労働対策の進め方」
～衛生管理者の視点も含めて～

政府が示す一億総活躍社会の実現に向けて組織された働き方改革実現会議を中心に時間外労働に関する議論が活発に行われ過重労働に関心が集まっています。また、昨年末に厚生労働省より「過労死防止緊急対策について」が示され、違法な長時間労働を許さない取組の強化、メンタルヘルス・パワハラ防止対策のための取組の強化、過労死等ゼロを目指す取組の強化が、過重労働対策の基本として推進されています。

一方で、過労死等の労災の認定としては、メンタル疾患のほか、脳血管疾患、虚血性心疾患が問題となっております。労働安全衛生法においては、健康診断、過重労働面接指導のあと産業医から意見を聴取し、事後措置を行うことを定めていることからも、過重労働対策は、時間外労働削減の労務管理だけではなく、健康管理を中心とした衛生管理対策も併せて進める必要があります。

このような状況を踏まえて、第 3 分科会は、過重労働対策にどう取り組んでいけばよいのか、日ごろの悩みや問題点の解決に向けた情報交換の場にしていきたいと思います。

衛生管理者はもちろんのこと安全衛生推進者、安全担当者、労務担当者など、幅広いご意見をいただきたいと思いますので、一人でも多くの方のご出席をお待ちしております。

座　　長　　椎野労働衛生コンサルタント事務所　　椎野 恭司

＜講　　演＞

テーマ ：「過重労働対策と健康管理」

味の素株式会社 川崎健康推進センター　　産業医　古河　泰 氏

＜グループ討議＞

グループリーダー　　労働衛生技術委員会・衛生管理推進委員会

次　　第

開　　会　　10:00 ～

(1)　開 会 の 辞　　(公社)神奈川労務安全衛生協会　　専務理事　渡辺　辰

(2)　挨　　拶　　「夏季講座開会にあたって」
神奈川労働局　労働基準部長　久富　康生

(3)　行政運営方針説明　10:15 ～ 11:00
「平成 29 年度労働基準行政の運営方針」
神奈川労働局　労働基準部　監督課　課長　福田　剛之

(4)　特 別 講 演　　11:00 ～ 12:30
「働き方改革をめぐる企業の対応と課題」
弁護士　峰　隆之 氏

≪ 休　　憩≫　　12:30 ～ 13:30 （昼食：お弁当を用意してあります）

(5)　分　科　会　　13:30 ～ 17:00

第 1 分科会（労務管理委員会・教育委員会合同開催）
「労働者の高齢化に向けての安全衛生対策」

第 2 分科会（産業保健活動委員会）
「職域で活用するアサーション・トレーニング」

第 3 分科会（労働衛生技術委員会・衛生管理推進委員会合同開催）
「過重労働対策の進め方」～衛生管理の視点も含めて～

申込方法について

①下記申込書に必要事項を記入し、銀行振込控のコピーとともに当協会宛郵送してください。

②振込手数料は、貴社負担でお願いします。

③申込は先着順の受付とし、定員になり次第締切りますので、早めにお申込みください。

④インターネットでの申込みができます。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

振 込 先

横浜銀行・関内支店	普通	No.1063993
みずほ銀行・横浜中央支店	普通	No. 762626

受取人

公益社団法人　神奈川労務安全衛生協会

〒231-8443　　横浜市中区相生町 3-63

TEL　045-662-5965

※　申込み後取消しの場合は、早めにご連絡ください。

き　り　と　り　線

2017.7

労務安全衛生管理夏季講座申込書

(公社)神奈川労務安全衛生協会　御中

ご希望の分科会(いずれか一つ)、昼食のお弁当の要・否に○印をつけてください

※受講番号	所属・役職名または係名	氏　名	希望分科会	昼食お弁当
			1 ・ 2 ・ 3	要 ・ 否
			1 ・ 2 ・ 3	要 ・ 否
			1 ・ 2 ・ 3	要 ・ 否

(※印欄は記入しないでください)

会員番号							一般

会　費　@7,150×　名＝　　円

(消費税等込)

＊会員事業場の方で銀行振込控がない場合は下記にご記入ください。

どちらかに○印

振込先		横浜銀行・関内支店
		みずほ銀行・横浜中央支店
振込日	月　　日振込（予定）	

所属支部名　　支部

事業場名

〒□□□ - □□□□

所在地

担当者所属・氏名

TEL　　FAX

※個人情報については、当協会が責任を持って管理し、本講座の的確な実施のためにのみ活用させていただきます。